

# 山口県感染症発生週報

(第49週:2022年12月5日~12月11日)

## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

・結核:2例(柳井1、萩1)

### 【5類感染症】

・急性弛緩性麻痺:1例(周南)

### 【新型コロナウイルス等感染症】

・新型コロナウイルス感染症:7,757例(下関1,328、岩国710、柳井295、周南1,377、防府599、山口768、宇部1,238、長門66、萩57、フォローアップセンター1,319)



結核菌  
CDC/ Melissa Brower

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ・RSウイルス感染症:県全体で発生が多い状況です。周南、防府、宇部、萩で発生が多い状況です。
- ・手足口病:防府で、警報レベルが続いています。[警報レベル:防府(2週目)]\*

※警報レベル・注意レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho>

### (2)週別発生状況

疾患名	47週	48週	49週	疾患名	47週	48週	49週
インフルエンザ	3	2	0	ヘルパンギーナ	26	29	26
RSウイルス感染症	65	51	55	流行性耳下腺炎	1	0	5
咽頭結膜熱	3	0	0	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8	5	流行性角結膜炎	2	1	5
感染性胃腸炎	103	98	77	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	2	0	1	細菌性髄膜炎	1	1	0
手足口病	24	48	36	マイコプラズマ肺炎	0	1	0
伝染性紅斑	0	1	3	無菌性髄膜炎	0	2	1
突発性発しん	14	14	16	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	2	30	6	0	10	1	6	55
咽頭結膜熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	0	2	0	0	0	0	0	5
感染性胃腸炎	15	10	1	20	4	6	21	0	0	77
水痘	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
手足口病	3	7	0	5	17	1	3	0	0	36
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
突発性発しん	5	0	0	7	1	0	3	0	0	16
ヘルパンギーナ	4	0	1	1	3	0	17	0	0	26
流行性耳下腺炎	0	1	0	2	1	0	1	0	0	5
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	1	3	0	0	1	0	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 トピックス

- ・新型コロナウイルス感染症については、12月12日661人、12月13日に1,910人の新規感染が公表されています。(県新型コロナウイルス感染症対策本部公表)【累計208,922例】
- ・新型コロナウイルスのゲノム解析の結果、国のアドバイザリーボードにおいて、ゲノムサーベイランスによる監視が必要とされている変異株の一つである、オミクロン株「BQ.1.1系統」(通称:ケルベロス)が12月9日に県内で初めて1件確認されました。
- ・なお、BQ.1.1系統は、同アドバイザリーボードによれば、BA.5系統と比べて、より免疫逃避があると考えられ、海外で感染者数増加における優位性につながっている可能性が指摘されていますが、感染性や重症度等が高まっていることは示唆されていないことから、感染対策は、これまでと変わるものではありません。(県HP;<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/186964.html>)

## 4 病原体検出等情報

- ・新型コロナウイルス(検体採取週 第49、50週)